

安全と環境を考えるニシオの広報誌

2004

Vol-6

72

安全くん



じゃ行け!! 安全くん

「安全意識は伝授できない?!」の巻

●解説コーナー

「改正 道路交通法について」

「工事成績評定『安全教育実施』で加点されることに」

「『建設マスター』(優秀施工者国土交通(建設)大臣顕彰者)とは?」

●世の中 見たトコ勝負 VOL.12

「増えてきた『ファストカジュアル』」

●NISHIO TOPICS

道路工事用 安全対策機器 「とまれくん」 特許取得!

表紙写真：熊野本宮大社
本殿
(和歌山県)

インターネットホームページ
「安全くんネット」もご覧ください。

[http://www.anzenkun.
nishio-rent.co.jp/](http://www.anzenkun.nishio-rent.co.jp/)



〈この広報誌は、再生紙を使用しています。〉

それに行け!! 安全くん

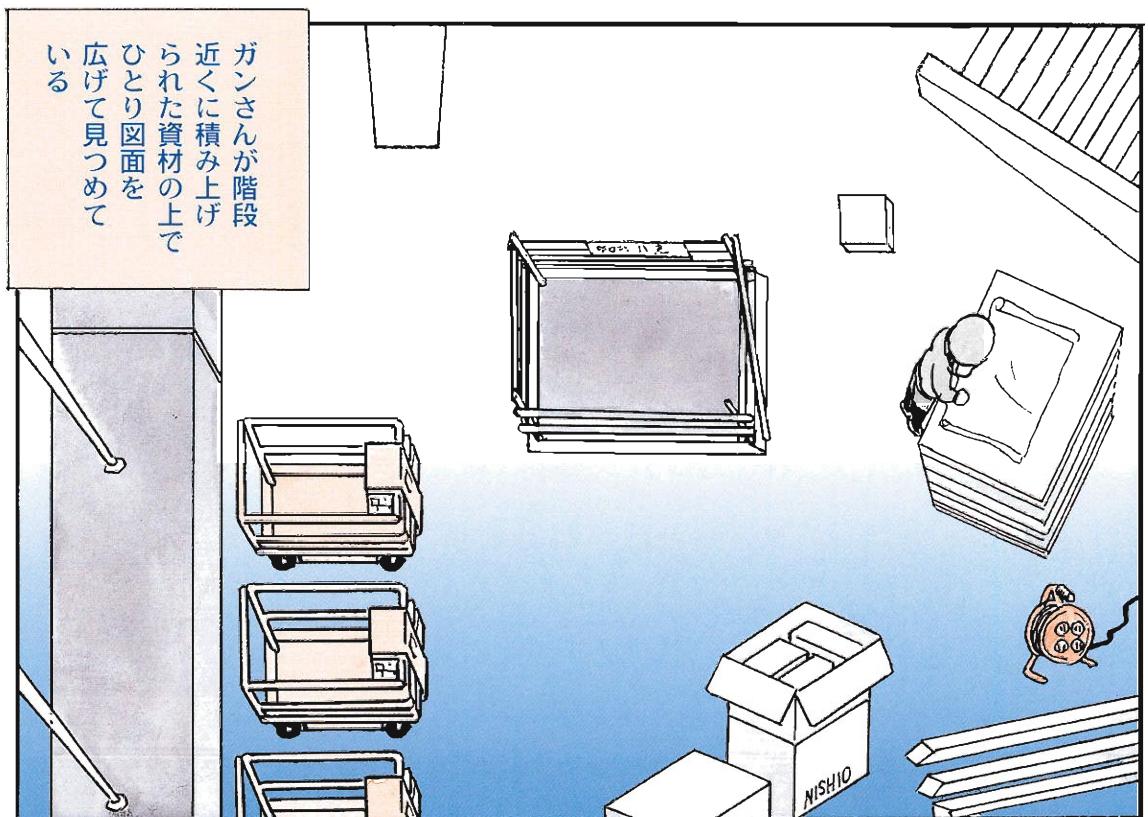
画 中村よしのぶ

連載 その72

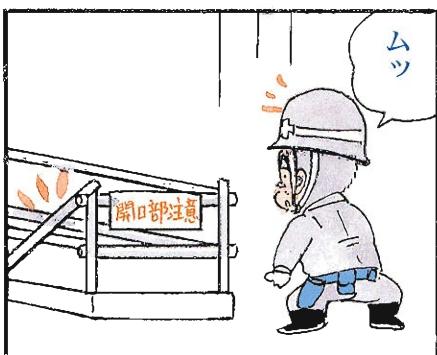
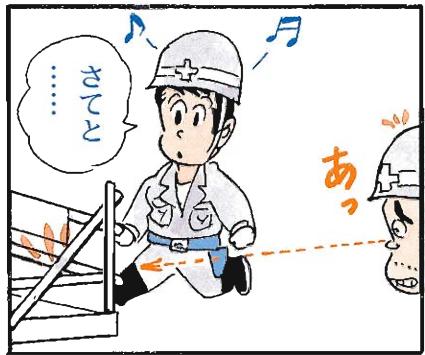
「安全意識は
伝授できない?!」の巻

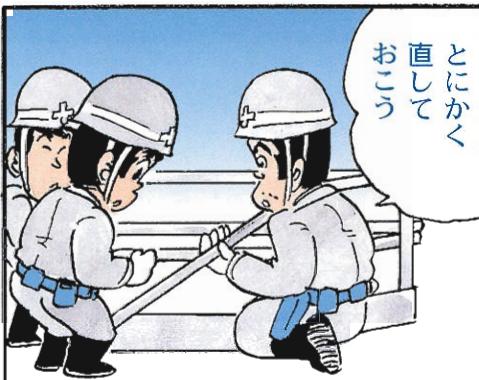


表紙の写真



世界文化遺産 第6回 「紀伊山地の霊場と参詣道」より熊野本宮大社本殿
本年7月1日に世界遺産として登録されました。紀伊山地の熊野三山・高野山・吉野・大峯の三大霊場が、
熊野古道などの参詣道で結ばれていますので「霊場と道」が世界遺産になりました。





ガンさんのファントレッスン

『“魔の一瞬”を避けるために、あなたは何をしていますか？』

今回の安全くんは、開口部の柵が外れているのは目には入っているものの注視せず、それが“いつもと違う” = “危険”とは感じなかったようですね。日常生活でも似たようなシーンが多くあります。たとえば、自動車運転中に信号が赤なのにブレーキをかけるのが一瞬遅れる。朝、テレビの時刻表示を見ているにもかかわらず、家を出るタイミングが遅れる。これらは、赤信号や時刻表示が目に入っていても、それが何を意味するのか気がつかない、ぼんやりしているか他に意識が向いている状態です。

こんな状態のときは、たとえ指差確認の動作をしていても、目の前の異常(=危険な状態)に気付かないこともあります。「いつもはちゃんと注意しているのに」「普段なら気付くはずだが…」トラブル発生の後、よくこんな会話が出てきます。不安全な状態、行為と注意力・集中力が低下しているタイミングが重なった時、この“魔の一瞬”を迎えることになります。これを避けるために、危険な場所、状態、タイミングについて繰り返し安全教育を受けているはずです。そして、現場内でも危険箇所に様々な表示がつけられています。

では、これらの危険へのあなた自身の対策は？ 最近、ヒューマンエラーの研究が進んでいますが、皆さん一人一人の頭の動きまではわかりません。“魔の一瞬”を迎えないために自分自身の分析(どんな時にぼんやりするか等)と対策(注意力や集中力のもっていかれたなど)を行ってください。ベテランの方は、「自分は、こうだから常に○○を心がけている」というように自己分析と対策をお持ちです。職長の皆さんとの経験談が役立つはずです。



休憩室



SAFETY CHECK セーフティ チェック

電気チェーンブロックの安全

建築現場での揚重に多用される電気チェーンブロックですが、電動モータによる巻き上げ機能は便利な反面、負荷の掛かるフックや電源の不適正が原因で大きな事故を招くことがあります。

□トラブルの原因と予防

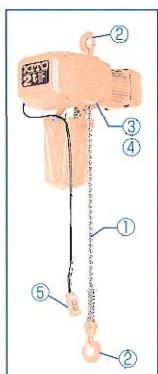
荷の吊上げが遅かったり停止するのは、過荷重が主な原因ですが、電源が適正でない場合もあります。仮設電源を使用する際は、一度電圧をチェックしましょう。押しボタンの方向と逆に動作する場合は、電源の逆相が原因です。また、吊りフックは負荷がかかるので長期使用の場合、フックの開きも確認のこと。過度のインチングは、接点の焼付けの原因になるので、ご注意を。

□点検のポイント

使用前には次の個所に異常がないか点検を。

- ①チェーン（伸び、摩耗、変形）②フック（はすれ止、開き、変形）③本体（各部のボルト、ナット）給油、④外観（破損、変形、ねじのゆるみ）⑤スイッチの動作

*トロリー付きで定格荷重500kg以上の電気チェーンブロックは、「クレーン」の扱いとなり5t未満はクレーン運転の特別教育、5t以上はクレーン運転士免許が必要。また、設置には所轄労働基準局への届出（3t以上は設置届、3t未満は設置報告書）が義務となります。





解説コーナー 「建設マスター」(優秀施工者国土交通(建設)大臣顕彰者)とは?

△ ガンさんがいう師弟関係も、師匠が広く認められる人物でないとなかなか成立しないのでは?そこで、「建設マスター」という制度がありますが、ご存知ですか?

△ 建設マスターとは、「優秀施工者 国土交通大臣顕彰者」の通称で、優秀な技能・技術を有する建設技能者を「優秀施工者」として国土交通大臣が顕彰する、というものでした。

「ものづくり」に携わっている者の誇りと意欲の増進、能力と資質の向上、そして社会的評価・地位の確立を図り、建設業の健全な発展につなげることを目的に平成4年度に創設されました。

なお、平成16年度は、5月に顕彰式典があり、463名の「建設マスター」新たに誕生しました。

○建設マスターの対象者

現役として活躍している建設技能者のうち、特に技能・技術及び人格に優れ、後進の指導・育成により「建設」の質の維持向上に貢献できる方。

○職種

アンカーワーク、石工、ウェルボイント工、ALC工、解体工、ガラス工、機械器具設置工、軌道工、橋梁特殊工、建設機械運転工、建設機械運転工(海上工事)、鋼構造物工、コンクリート工、左官工、さく井工、シールド工、しゅんせつ工、消防施設工、推進工、潜函工、造園工、大工、タイル工、建具工、注入工、鉄筋工、電気工、電気通信工、道路標識設置工、土工、塗装工、とび工、トンネル工、内装仕上工、熱絶縁工、配管工、板金工、ブロック工、防水工、ボーリング工、舗装工、屋根工、溶接工

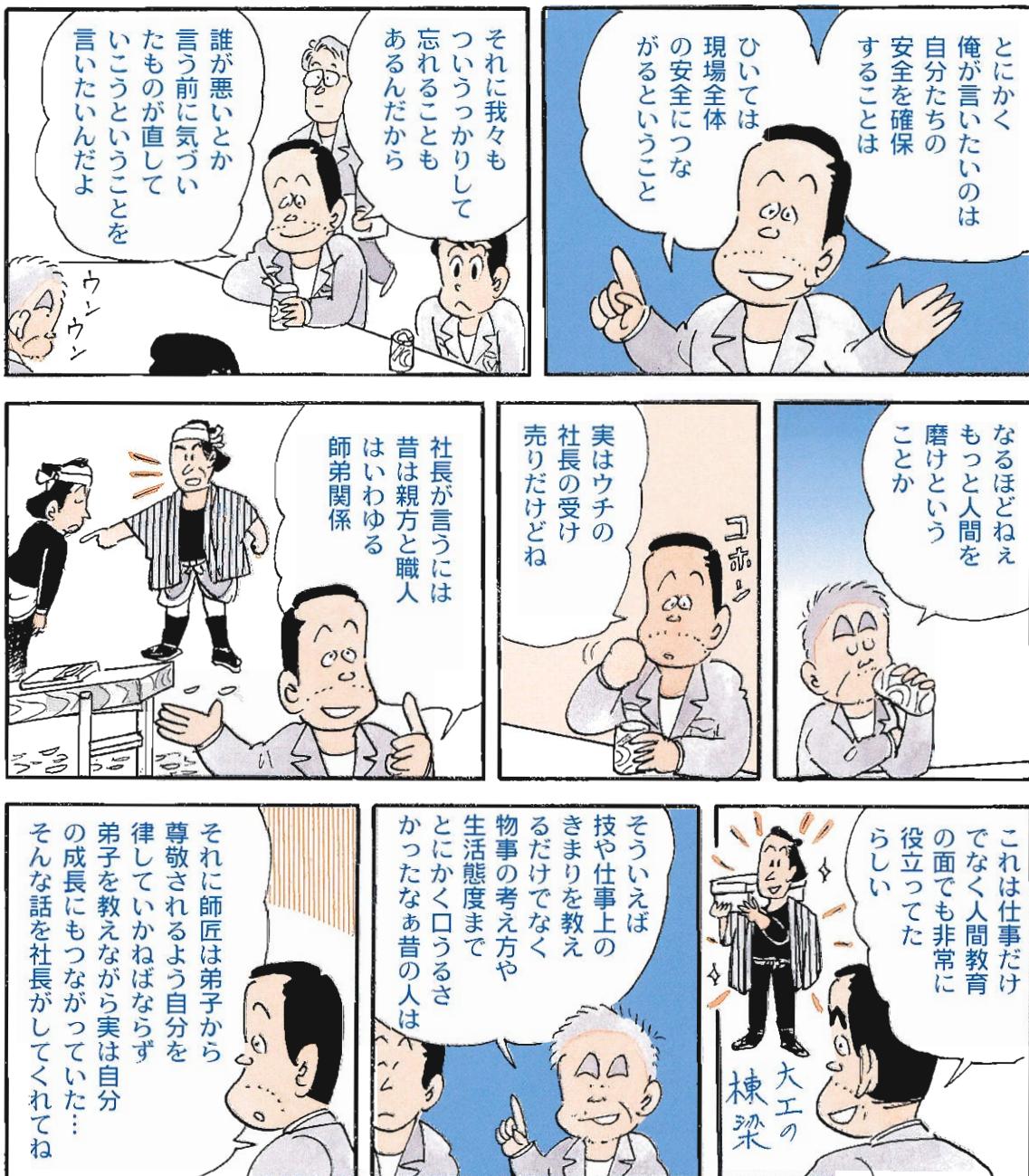
リート工、左官工、さく井工、シールド工、しゅんせつ工、消防施設工、推進工、潜函工、造園工、大工、タイル工、建具工、注入工、鉄筋工、電気工、電気通信工、道路標識設置工、土工、塗装工、とび工、トンネル工、内装仕上工、熱絶縁工、配管工、板金工、ブロック工、防水工、ボーリング工、舗装工、屋根工、溶接工

○選考方法

業界団体・都道府県及び地方整備局から推薦を受けた方を優秀施工者国土交通大臣顕彰審査委員会において、審査し選考します。選考のポイントは、以下のとおり。

- (1) 必要とされる優秀な「技」を持っているか?
- (2) 工事施工に際し、多大な貢献をしている「ポイントゲッター」であるか?
- (3) 後進の指導育成に積極的に取り組む「先生」と言えるか?
- (4) 安全・衛生面の向上に配慮する「セーフティー&クリーンマン」か?
- (5) 建設現場に従事する者が模範とすべき「優れた人格」を持っているか?

※詳しくは、財団法人 建設業振興基金 ホームページまで
<http://www.yoi-kensetsu.com/>



冬がくる前に ~暖房機器のメンテナンス~

暖房機器は、シーズンオフは倉庫に保管しているからと言って油断は禁物。長期の未使用は見えない所にトラブルを招きます。使用する際は、次の点に注意してメンテナンスをしましょう。

□ 不良灯油はトラブルの元！

灯油を使用する暖房器具は、前シーズンからタンクに残留した灯油が、夏場の温度上昇や給油蓋が開いていたことなどで、変質（茶色）し燃焼しなくなったり、器具自体も傷める原因になります。もったないからと残留した灯油を使うのは避けてください。また、燃料フィルターにも古い灯油が残っているケースがあるので洗浄を忘れずに！

倉庫内でも埃は堆積しやすく、使用前は一度フィルタや空気取入口の清掃をしましょう。

□ メンテナンスのポイント

①外観（凹み・破損）、②燃料（量・汚れ）、③給油口（錆、変形、破損）、④フィルター、反射板（汚れ、破損）、⑤安全装置類（作動）、⑥電源コード類（傷・断裂）等。

傾斜や凹凸な場所では安全装置が働き点火しない場合があるので注意。プラグのアース部分の欠損及びコード破損は交換を！



